

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近 江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 120,750 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和5年10月1日現在

事業の実施状況

令和5年度上半期の処理水量は79,087千m³で、前年度同期に比べ713千m³、0.9%の減少となりました。
なお、上半期の各処理区の処理水量は、次のとおりです。

（単位：千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
令和4年度上半期	50,500	8,209	18,592	2,499	79,800
令和5年度上半期	49,334	7,960	19,222	2,571	79,087
増減	△ 1,166	△ 249	630	72	△ 713

建設改良事業の状況

令和5年度上半期は、浄化センターにおける水処理施設の増設工事および改築更新工事、耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を前年度に引き続き実施しました。

経理の状況

予算の補正の状況

令和5年6月定例会議において、特別高圧電力の価格高騰分に充当するための補助金収入として、事業収益を120,985千円増額補正しました。また、関連事業の進捗に対応するため、湖南中部浄化センター污泥処理設備工事他1件の債務負担行為の期間の変更および増額補正を行いました。

令和5年9月定例会議において、早期に事業を開始するため、放流先水質底質調査業務他5件の債務負担行為を追加しました。また、工程の追加等に対応するため、清水ポンプ場耐震補強工事他1件の債務負担行為の増額補正を行いました。

予算の執行状況

令和5年度上半期の予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収支

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)(%)
琵琶湖流域下水道事業収益	20,501,900	120,985	—	20,622,885	5,001,245	24.3
営業収益	9,023,304	—	—	9,023,304	2,986,531	33.1
営業外収益	11,478,596	120,985	—	11,599,581	2,014,714	17.4
琵琶湖流域下水道事業費用	21,438,900	—	—	21,438,900	2,887,275	13.5
営業費用	20,869,593	—	—	20,869,593	2,617,641	12.5
営業外費用	569,307	—	—	569,307	269,634	47.4

●資本的収支

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)(%)
資本的収入	13,206,200	—	3,941,005	17,147,205	406,059	2.4
企業債	3,349,400	—	1,059,900	4,409,300	406,000	9.2
出資金	891,734	—	—	891,734	—	—
補助金	6,773,946	—	2,881,105	9,655,051	—	—
負担金	2,191,120	—	—	2,191,120	—	—
固定資産売却代金	—	—	—	—	59	—
資本的支出	15,248,900	—	5,953,908	21,202,808	2,471,935	11.7
建設改良費	11,431,701	—	5,953,908	17,385,609	384,986	2.2
企業債償還金	3,778,944	—	—	3,778,944	2,086,949	55.2
返還金	38,255	—	—	38,255	—	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

また、以上の予算執行の状況を企業会計原則に従って合計残高試算表にしますと、令和5年9月30日現在では次のとおりです。

●合計残高試算表（令和5年9月30日現在）

（単位：千円）

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
265,332,326	333,614,014	〔資産の部〕	68,281,688	
261,470,206	309,866,750	固 定 資 産	48,396,544	
3,862,120	23,747,264	流 動 資 産	19,885,144	
	48,896,747	〔負債の部〕	291,253,042	242,356,295
		固 定 負 債	43,072,020	43,072,020
	9,245,579	流 動 負 債	11,197,115	1,951,536
	39,651,168	繰 延 収 益	236,983,907	197,332,739
		〔資本の部〕	20,872,830	20,872,830
		資 本 金	3,704,532	3,704,532
		剰 余 金	17,168,298	17,168,298
		〔収益の部〕	4,728,572	4,728,572
		営 業 収 益	2,715,029	2,715,029
		営 業 外 収 益	2,013,543	2,013,543
2,625,371	2,625,371	〔費用の部〕		
2,355,737	2,355,737	営 業 費 用		
269,634	269,634	営 業 外 費 用		
267,957,697	385,136,132	合 計	385,136,132	267,957,697

企業債の状況

令和5年9月30日現在の企業債の現在高は43,656,506千円です。

